

市政に対する一般質問



日下田喜義議員
〔一括質問〕

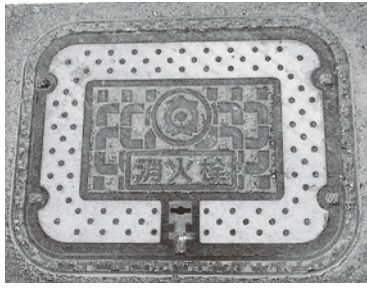
防火水槽及び消火栓の 設置及び管理は

問

日下田議員 防火水槽と消火栓の設置の振分けは、どのように行っているのか。また、現在の設置数ほどのくらいで、消火栓及び防火水槽の維持管理及び日常の点検はどのように実施されているのか。

答

市民生活部長 防火水槽については、各自治会からの要望などにより設置を進め、消火栓については、水道の給水区域拡張にあわせ、水道管を新設する際に沿線の建築物の状況などに配慮して、設置を



消火栓

進めている。現在防火水槽が538基、消火栓が1507基となっている。消火栓及び防火水槽の点検は、年1回、真岡消防署、地元消防団の協力を得て、全ての消火栓・防火水槽を点検し、維持管理に努めている。

BCPの評価、効果 及び今後の計画は

問

日下田議員 BCP策定推進都市宣言後1年が過ぎたが、外部からの評価、効果は。また、今後、どのようなことを計画するのか。

答

市長 BCP策定のための説明会や講演会、ワークショップを開催し、関係機関の協力により開催し、各事業所における導入に向けた積極的な働きかけを実施した。「いかにBCPを策定する必要があるかが理解できた」との評価をいただき、その結果、ワークショップに参加した20社全てと、それ以前に策定した4社の合計24社がBCPを策定した。

今後も、ワークショップやセミナーが開催される際には、市内の各事業所に案内を送付するなどして働きかけを行い、BCPの策定や改定のための支援を積極的に推進していく。



服部正一郎議員
〔一括質問〕

アスリートの育成・支援は

問

服部議員 本市において、オリンピック選手のような有望なアスリートはいっているのか。育成・支援はどう行っているのか。

答

市長 国体などの全国大会出場し活躍している選手はいるが、オリンピックの強化指定を受けているような高校生、大学生のトップアスリートはいない。将来のトップアスリートを育成するためにスポーツ教室を開設し、子供のころから気軽にスポーツに触れ、親しむことがで



きる環境を整え、競技スポーツの底辺拡大を図っている。また、選手の競技力向上のために、指導体制の整備やスポーツ施設の整備・充実を図るとともに、プロスポーツ界で活躍する選手と直接交流できる機会をつくるなど、支援を行っている。

ジビエの有効活用を

問

服部議員 ジビエの有効活用を図ってはいかがか。野生鳥獣の食肉加工センターの建設を考えてはいかがか。

答

産業部長 市のイノシシの捕獲数は、毎年食用として供給できるほど大量に捕獲されているものではなく、また、捕獲及び採取後の処理については、原子力災害対策特別措置法に基づく出荷制限のため、焼却処分などにより対応しており、地域資源となるほど条件も備わっていないので、今のところ活用の予定はない。

野生鳥獣の食肉加工センターの建設の考えは、安定的な流通に対応できる頭数確保が難しいことや、費用対効果の面から、建設については予定していない。



鶴見和弘議員
 (一括質問)

長田小学校児童が
 増加したときの対策は

問 鶴見議員 長田小学校教室増設事業が既に行われているが、今後更に増加したときの対策は。

答 教育長 本年度の新1年生の学級増が見込まれていた平成29年度の時点で、普通教室として活用できる教室が全て使用されている状況であったことから、普通教室を1室増設する目的で、校舎1階中央に配置されていた保健室を校舎北側に新設した平屋造りの建物に移動させ、空いたスペースを普通教室へ改



増設する教室 (長田小学校)

修した。
 今後も続くと予測される児童数の増加に対応することに加え、教育環境の改善を図るため、ほかの多くの学校に整備されている会議室や生活科室も含め、校舎の増築を行って

スポーツ推進計画策定事業の
 内容及びスケジュールは

問 鶴見議員 スポーツ推進計画策定事業の具体的な内容とスケジュールは。

答 教育次長 スポーツ推進計画は、本市のスポーツ・レクリエーションを推進するための基本的な方向性を定める計画であり、市民ひとり1スポーツの実現に向けて、具体的な施策や方針を掲げ、本市の新たなスポーツ環境づくりを目指すために、平成30年度、31年度の2か年で策定していく。

本年度は、策定委員会を設置し、スポーツに関する市民の現状や課題、ニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施する予定であり、その調査結果を分析しながら、計画の骨子を作成していく。



春山則子議員
 (一括質問)

全国いちごサミットの
 開催に向けた進捗状況は

問 春山議員 「全国いちごサミット」の開催に向けた、現時点での進捗状況を伺う。

答 産業部長 いちごサミットの基本計画を策定するため、6月15日に、市や関係機関で組織する15名の審査委員会において、プロポーザル方式による委託業者の決定を行っていく。6月25日には、第1回全国いちごサミット in 真岡実行委員会を開催し、事業の計画や運営について協議を行っていく。7月上旬には、



全国いちごサミット in 真岡
 実行委員会

推進・企画・広報などの推進チームを設置し、実働的な役割を担う専門部会を予定している。今後は、実行委員会や専門部会において、開催日時、内容等を検討し、実施に向けた準備と全国イチゴ産地への協力依頼など、PRを図っていく。

真岡市の女性管理職の現状
 及び登用は

問 春山議員 市の女性管理職の現状や、女性職員の登用への登用をどのように考えているのか。

答 市長 本市では、市役所での女性管理職が少ない現状を踏まえ、成果目標の一つとして市役所の係長相当職以上の女性職員の割合を平成27年度の2倍にすることを掲げたところである。

組織における意思決定には女性の視点が欠かせないと考えており、県の女性課長を講師とした講演会の実施や、市三役以下の全部課長職のイクボス宣言等により、女性がいきいきと活躍できる職場づくりを促進している。今後も、女性職員のキャリアアップを促す取組による人材育成を推進し、女性職員の登用への登用を積極的に推進していく。



渡邊隆議員
〔一問一答〕

新規就農者の育成、 支援及び確保は

問 渡邊議員 新規就農者の育成、支援及び今後の確保について伺う。

答 産業部長 新規就農者への育成及び支援は、JAはが野新規就農塾での研修費用に対する助成、施設、機械等の初期投資費用の助成、農業次世代人材投資給付金による補助や、就農後1年間に渡る農業経営の指導員の配置、パイプハウス等の空き施設を貸し付けた方に対する奨励金の交付、市外から転入した新規



新規就農者へのサポート

就農者がアパート等を借りている場合の家賃補助などに取り組んでいる。今後の担い手確保については、現在の新規就農者支援事業に加え、8月に東京都の有楽町で県が主催する「とちぎで始める本気農業」の相談会への参加を予定している。

真岡市営住宅の 運営方針は

問 渡邊議員 今後の真岡市営住宅の運営方針について伺う。

答 市長 本市の市営住宅は、多くの住宅で老朽化が進み、コスト縮減や適切な管理が求められるとともに、人口増を前提としたこれまでの住宅政策を見直す必要がある。市営住宅の運営に当たっては、少人数世帯への対応や子育て世代等の住居の確保など、多くの課題がある。

今後の社会情勢の変化に合わせた運営ができるよう、現在の住宅マスタープランを今年度に改定し、住まいのセーフティネット機能の維持・向上、住宅の長寿命化、コミュニティの形成が図れる市営住宅の実現に向けて、学識経験者などの意見を拝聴しながら、新たな基本方針を策定するよう取り組んでいく。



飯塚正議員
〔一括質問〕

道路交通法改正に伴う ポンプ車運転の対応は

問 飯塚議員 道路交通法改正に伴い、昨年3月12日以降に取得した普通免許では、消防団ポンプ車を運転できないとのことだが、本市の状況について伺う。また、今後、運転できない団員が増えた場合、市としての対策について伺う。

答 市長 現在の本市の状況は、消防団は全7分団24部が組織されており、24台全ての消防ポンプ車が車両総重量3.5トン以上である。市としての対策は、現在、真岡市の



消防ポンプ自動車

消防団員で、平成29年3月12日以降に普通免許を取得した団員はいないので、消防ポンプ車の運転に支障はないが、運転できない団員が増えることが予想されるので、今後は、国の動向を注視し、他の自治体の状況を参考にしながら対応をしていく。

ICTを活用した 鳥獣被害対策を

問 飯塚議員 現在、本市にICTを活用してイノシシ等の捕獲をしている人はいるのか。また、今後、ICTの活用を推進し、その場合、機器が高額なため、市からの貸出しを検討してはどうか。

答 産業部長 ICTを活用して捕獲ができるシステムは高額なことから、現在、本市でICTを活用した事例はない。

ICTの活用の推進については、本市では、イノシシの被害対策として田畑に電気柵の設置補助などを実施しており、捕獲については、市内の猟友会できくりわなや銃器での駆除を行っているが、今後、捕獲ハンター不足等も課題となることから、ICT機器の活用や機器の備えについて先進事例を調査・研究していく。